

会議録（要旨）

会議名称：令和5年度 第3回上島町子ども・子育て会議

開催日時：令和6年4月25日（木）14:00～

開催場所：せとうち交流館 多目的ホール

出席委員：7名

欠席委員：5名

事務局：住民課・町民生活課：3名

会議次第：1 開会

2 会の成立について

3 会長のあいさつ

4 議題

（1）上島町子どもの成長と子育て支援に関するアンケート調査結果について

5 閉会

議題（1）上島町子どもの成長と子育て支援に関するアンケート調査結果について

（事務局）

上島町子どもの成長と子育て支援に関するアンケート調査結果について資料の説明。

（会長）

説明いただきましたが、質問があれば挙手でお願いします。

（委員）

子育てを主に行っているについては、父母ともに高いのですが、小学校になると母が多くなる傾向ですが、近年子育てする父親が増えてきたなど安心感がありました。子どもが病気の際に一緒に過ごし、仕事は休みをいただいたと回答を見て、自分の経験では、病気の際、子どもは親と居たいものです。仕事で休めなかったとの記述があって、体制づくりが必要だと実感しました。

（委員）

子どもがコロナに罹ったとき、親も休まなくてはいけなく、看護休暇ではだめで有休をとらざるをえなかった。国のほうでは休めと言っているのに看護休暇が取れなかったのが、悲しかった。新たに妊婦になった人や結婚したばかりの人の意見取らないのかと思いました。これからの子育ての人の意見が入らないかなと思う。

（委員）

育児休業は、男性職員も育児休業を取る流れになっています。実際には学校では仕事が回らなくなる現状があるので、制度はいいのですが、教員を増やすとかやった上で、福利厚生を考えて欲しい。

(委員)

3月の終わりから4月まで(町外)で孫の子守をしました。預かり保育があたりまえで、18時までがあたりまえであった。親としては楽です。勤めて帰るまで預かる。ニーズがないからしないのではなく、親御さんも助かるのでいいと思う。

(委員)

消滅自治体に上島町があってびっくりした。豊島区でさえその状況なのに、島で不便でもここにあった子育てすれば、子どもも2人、3人になるのかなと思う。昔の子育ては今にはあてはまりません。お母さんの声はささいなことです。解決すると満足なので、声を吸い上げてほしい。二人目の子育ては一人目とは違う、つながりができると違うと思う。公園が欲しいと言っているように、具体的な希望の話が出たら、話題にできるので。それが少子化対策で、現状を知ることが大事です。

(委員)

子育てにギャップを感じます。我々が頭を切り替えないといけないと思う。私は、無我夢中で育てたイメージしか残っていない。育児休業はいいことと思う。先生が言われていたように、残った職員で対応できる体制を整える提言をしたらいいと思う。

(会長)

アンケートも形式的に終わらせず、しっかりと利用してほしい。アンケートを通して課題と解決ができればと思います。

(事務局)

報告書の94ページ以降の自由記述の意見を見ていました。公園というワードが飛び込んできて、自分たちの子育て時期は、公園が弓削にあって遊ばしていた。今の子はどこで遊んでいるのだろうと思いました。

(会長)

課題は小さなこともあるので、最初から完成形を求めるのではなく、小さなことからトライアルしていくのもいい。アンケート結果は公表される計画ありますか。

(事務局)

会議の後公表します。

(会長)

他に何かでもいいので、何かありませんか。

(委員)

遊ぶ場について、金曜日に弓削の保健センターが開放されていて、子どもが遊べるのですが、きれいではなく、遊具にフナ虫が出る状況で、環境整備が必要です。そこに保健師が来てくださったら相談しやすいこともあると思う。お金がかかるのが弱みだと思う。子どもの病院は向島だったで

しょうか。

（委員）

因島総合病院に小児科ができています。毎日しています（日曜日は休み）。

（委員）

高速代がかかる。申請とかで割引ができていたら利用しやすい。児童館に行った証明で、交通費の補助金が出るとか、交通費がかかることで支援があると情緒面の教育に、お手伝いできるのでは。行政としてはあるのではないか。あとミュージカルに行ったとか。上島町の立地を考えるとその思いがある。

（会長）

（町外）から来たのですが、子どもの頃は、地域に児童館があって漫画や本があったり、卓球台があったり、毎日行っていたのですが、島にはないと思う。あればいいと思う。共働きなんです、両方家で働いていて、子どもが夏休みに児童クラブに入れなかったことがありました。親は家にいるのですが、働いているので子どもの相手ができなく、児童館があれば、連れて行ったら遊べるのでいいと思う。

（委員）

社協から空いている部屋を使わせてもらっています（サロンおひさま）。子どもからお年寄りまで使う趣味の部屋です。まったくの自由に来て、帰る場所で、里帰りて来た親子さんが、島根から来て、人口が増えているそうで、話を聞くと児童館があったり、保育所に自由に入ってお試しで入ってなどの試みがいろいろあるそうです。土日も利用できる施設など、いろいろな利用の仕方があると思いました。

（会長）

（サロンおひさまには）仲間がいるのでしょうか。

（委員）

カフェをしている方や駐在所の奥さんが手伝ったり、楽しそうな場所と感じたら集まってくるので、公共施設でしていただきたい。

（会長）

遊休施設はいっぱいある。

（委員）

毎日開けていて、人が雇用されていないと続かない。

（委員）

学校では、部活動の地域移行があって、指導する方がいないのがネックになっています。人材がいれば、そうになっていくんですが、お金の問題があります。岩城も給食を作っている方がいなくな

って、弓削の給食センターを利用している。下支えする人材がないことを感じる。

（会長）

子どもが野球を始めて、地域で野球を始めて夢島ベースボールクラブに入っています。行ってみると、ボランティアですが、楽しくて、無給でも楽しいからやろうとする人を助けてあげることができればと思います。実体験でそう感じています。行政は、場所を提供したらいいんでしょうか。

（委員）

そこに人がいたらいいと思います。私は活動して7年目です。いつかどこかで、ちゃんとできたらいいなと思っています。みんなが集まれる場所があればいいと思うし、上島という単位で考えたらいいいと思う。そこに保育士でなくてもおばちゃんでもいいと思います。

（会長）

委員さんの取組は、いいモデルケースと思います。その他はありますか。

（事務局）

今年度の会議は、3回開催予定です。今年度の会議で計画策定を進める形になりますので、委員の皆さんの声を反映させて行きます。よろしくお願いします。

（会長）

前回の会議で、保育所について議論していて、提言書を提出しました。その後どのような動きがあったのか、この場で進め方の見通しを教えてくださいと助かります。

（事務局）

小中学校のあり方検討委員会があります。そこと連携して、令和6年度中に方向性を決めることになります。

（会長）

小中学校の再編と一体的に議論していくのですか。

（事務局）

委員会では一体的にと意見が出ているので、その方向で進めています。

（会長）

親の意見を聞いて進めればいいと思います。

閉会